

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-234285

(43)公開日 平成10年(1998)9月8日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

A 01 M 23/00  
A 01 K 77/00

識別記号

F I

A 01 M 23/00  
A 01 K 77/00

Z  
A

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全6頁)

(21)出願番号 特願平9-61866

(22)出願日 平成9年(1997)2月27日

(71)出願人 593065590

株式会社エスエスシー  
東京都板橋区赤塚7丁目11番14号

(72)発明者 川井 高

東京都板橋区赤塚7丁目11番14号株式会社  
エスエスシー内

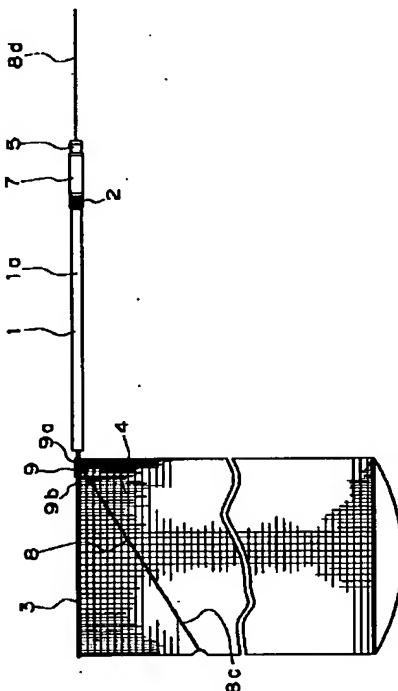
(74)代理人 弁理士 大森 泉

(54)【発明の名称】 動物捕獲具

(57)【要約】

【課題】 一旦捕獲網4内に動物を入れてしまえば、捕獲網4の開口部から動物が逃げ出せないようにすることができる動物捕獲具を提供する。

【解決手段】 ロッド1の先端にネットリム3を介して取り付けられた捕獲網4に、この捕獲網4に沿ってループ8cを形成するようにワイヤ8を係合し、ループ8cが小さくなるようにワイヤが引っ張られると捕獲網4が閉じられるようにする。これにより、捕獲網4内に動物を入れたならば、ワイヤ8を引っ張ってループ8cを小さくして捕獲網4を閉じるようにすれば、一旦捕獲網4内に入った動物が捕獲網4の開口部から逃げ出しがなくなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ロッドと、このロッドの先端に取り付けられたネットリムと、このネットリムに、該ネットリムにおいて開口するように取り付けられた捕獲網と、前記捕獲網に沿ってループを形成し、かつこのループが小さくなるように引っ張られると前記捕獲網を閉じさせることとなるように前記捕獲網に係合されたワイヤとを有してなる動物捕獲具。

【請求項2】 前記ロッドは中空とされる一方、前記ワイヤは無端状とされるとともに前記ロッド内に挿通され、前記ロッドの先端側および後端側においてそれぞれ該ロッドの外部に露出してループを形成し、前記ロッドの先端側における前記ループ部分は前記捕獲網に係合されている請求項1記載の動物捕獲具。

【請求項3】 前記ワイヤが形成する前記ループの大きさを固定可能かつ該固定を解除可能とするワイヤストッパをさらに有する請求項1または2記載の動物捕獲具。

【請求項4】 前記ロッドは伸縮可能とされている請求項1、2または3記載の動物捕獲具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、動物を捕獲するために用いる動物捕獲具に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来は、逃げ出したペットや町中に現れた野生の動物等を捕獲する場合、適当な捕獲具がなく、通常の捕獲網等を使用していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このため、折角一旦は捕獲網を動物に被せても、捕獲網の開口部から動物がまた逃げてしまったり、その際、捕獲しようとする人が動物に噛まれたり、引っ掻かれたりして怪我することがあるという問題があった。

【0004】 また、従来の通常の捕獲網では蛇を捕獲することは困難であるという問題もあった。

【0005】 本発明は、このような従来の事情に鑑みてなされたもので、本発明の一つの目的は、一旦捕獲網内に動物を入れてしまえば、該捕獲網の開口部から動物が逃げ出せないようにすることができる動物捕獲具を提供することにある。

【0006】 本発明の他の目的は、蛇も捕獲することができる動物捕獲具を提供することにある。

【0007】 本発明の他の目的は、以下の説明から明らかになろう。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明による動物捕獲具は、ロッドの先端にネットリムを介して取り付けられた捕獲網に、該捕獲網に沿ってループを形成するようにワイヤを係合し、前記ループが小さくなるように前記ワイヤが引っ張られると前記捕獲網が閉じられるようにする

(なお、本明細書において、「ワイヤ」とは必ずしも金属製のものに限定されず、一部に非金属材料を含んでいるものや、非金属材料のみからなるものをも含むものとする)。

【0009】 本発明によれば、捕獲網内に動物を入れたならば、ワイヤを引っ張って前記ループを小さくして捕獲網を閉じるようにすれば、従来のように一旦捕獲網内に入った動物が捕獲網の開口部から逃げ出しがなくなる。

10 【0010】 本発明の一つの態様においては、前記ロッドは中空とされる一方、前記ワイヤは無端状とされるとともに前記ロッド内に挿通され、前記ロッドの先端側および後端側においてそれぞれ該ロッドの外部に露出してループを形成し、前記ロッドの先端側における前記ループ部分は前記捕獲網に係合される。この態様においては、蛇を捕獲するときは、ロッド後端側のループ内を蛇の体が貫通する状態とした上、ロッド先端側のループを引っ張ってロッド後端側のループを小さくすれば、ロッド後端側のループで蛇を締め付けて蛇を捕獲することができる。

20 【0011】 また、前記ワイヤが形成する前記ループの大きさを固定可能かつ該固定を解除可能とするワイヤストッパをさらに設ければ、ワイヤから手を離しても、捕獲網を閉じた状態に保持したり、ロッド後端側のループを蛇等を締め付けた状態に保持したりすることができる。

## 【0012】

【発明の実施の形態】 以下、本発明を実施例に基づいて説明する。

## 30 【0013】

【実施例】 図1～9は、本発明の一実施例を示す。この実施例において、ロッド1は中空(パイプ状)の金属製のアウターロッド1aとこのアウターロッド1aの内周側にスライド可能に嵌合された中空(パイプ状)の金属製のインナーロッド1bとを有してなり、アウターロッド1aに対してインナーロッド1bをスライドすることにより全体の長さを伸縮可能とされている。前記アウターロッド1aはロッド1の先端側、インナーロッド1bはロッド1の後端側をそれぞれ構成しており、次に説明する従来公知の機構によりアウターロッド1aに対してインナーロッド1bを固定できるようになっている。

40 【0014】 すなわち、前記アウターロッド1aの先端部には短い筒状のスライド固定部材2が螺合されている。このスライド固定部材2の内周面とインナーロッド1bとの間にはCの字状の開放部を有するリング(図示せず)が介装されており、スライド固定部材2を締め付けていないときはアウターロッド1aに対してインナーロッド1bを自由にスライドできる一方、スライド固定部材2を締付方向に回転してスライド固定部材2を締め付けると、前記リングを介してアウターロッド1aの内

周面がインナーロッド1bの外周に押圧され、アウターロッド1aに対してインナーロッド1bが固定されるようになっている。

【0015】前記アウターロッド1aの先端部には環状に湾曲された金属製のネットリム3が取り付けられており、このネットリム3には捕獲網4が取り付けられている。この捕獲網4は、ナイロン糸を編んでなり、大略、一端が閉じられた筒状をなしており、ネットリム3において開口している。

【0016】前記インナーロッド1bの後端部には、ゴム製のワイヤガイド5が取り付けられており、このワイヤガイド5にはロッド1の軸方向と平行方向に1対のワイヤ穴6(図4および5参照)が貫通されている。前記インナーロッド1bの後端部付近の外周には、ワイヤガイド5に隣接してゴムまたはウレタンフォーム等の柔軟な材料からなるエンドグリップ7が被されている。

【0017】ワイヤ8は、図5に示されるように多数の細いワイヤを絞ってなるスチールワイヤ8aをビニール樹脂等のプラスチックのチューブ8bで被覆してなり、図6に示されるように無端状とされている。このワイヤ8は、ロッド1の先端側および後端側においてそれぞれ該ロッド1の外部に露出してループ8c、8dを形成するようにロッド1内に挿通されている。なお、ロッド1の後端部においては、図4および5に示されるように、ワイヤ8は1対のワイヤ穴6に挿通されており、ロッド1の後端側におけるワイヤ8のループ8d部分は蛇等捕獲部を構成している。他方、前記ワイヤ8のロッド1の先端側におけるループ8c部分は、捕獲網4の網の目に該網の目を縫うようにして挿通されて捕獲網4をほぼ1周している。これによりワイヤ8は、ロッド1の後端側に引っ張られてループ8cを小さくされると、捕獲網4を閉じさせることとなるように捕獲網4に係合されている。

【0018】ワイヤストッパ9は、ストッパ本体9aと、このストッパ本体9aとは別体のスライド部材9bとからなっている。図3に示されるように、前記ストッパ本体9aには穴10が貫通されており、この穴10にはスライド部材9bがスライド可能に収容されている。なお、スライド部材9bには突起部11(図8参照)が設けられており、この突起部11がストッパ本体9aに形成された直線状の溝穴12に嵌合されることにより、スライド部材9bは穴10の長さ方向に移動可能でかつストッパ本体9aから脱落できないようになっている。図3に示されるように、前記ワイヤ8のうちの、ロッド1の先端と捕獲網4に係合されている部分との間の部分は、ワイヤストッパ9の穴10の内周面とスライド部材9bとの間に挟まれるようにして穴10に挿通されている。

【0019】次に、本実施例の作動をその使用方法とともに説明する。

【0020】ロッド1の全長は、スライド固定部材2を緩めた状態でアウターロッド1aに対してインナーロッド1bをスライドすることにより調整でき、所望の長さに調整したところでスライド固定部材2を締め付ければ、その長さに固定することができる。

【0021】また、捕獲網4内に動物を入れたならば、ロッド1後端側のループ8dを引っ張ってロッド1先端側のループ8cを小さくすれば、捕獲網4が閉じられる。したがって、一旦捕獲網4内に動物を入れてしまえば、このようにして捕獲網4を閉じることにより、該捕獲網4の開口部から動物が逃げ出せないようにすることができる。なお、上述のようにして捕獲網4を閉じた後、ワイヤストッパ9のスライド部材9bを図9のようにストッパ本体9a内により深く挿入される方向に移動すると、ワイヤ8がストッパ本体9aの穴10の内周面とスライド部材9bとの間にきつく挟まれ、ワイヤ8がストッパ本体9aおよびスライド部材9bに対して固定される。したがって、その後ワイヤ8から手を離しても、ワイヤ8がループ8cが大きくなる方向(すなわち捕獲網4が開く方向)に引っ張られることによりループ8cが大きくなつて捕獲網4が開いてしまうことはない。

【0022】他方、捕獲網4内に収容した動物を捕獲網4から出したい等の理由により捕獲網4を開きたいときは、図3のようにスライド部材9bをストッパ本体9aに対する挿入度合いが浅くなる方向に引っ張れば、ストッパ本体9aの穴10の内周面とスライド部材9bとの間の間隙が大きくなり、ストッパ本体9aおよびスライド部材9bに対してワイヤ8が自由に動けるようになるので、ロッド1先端側のループ8cを大きくし、ひいては捕獲網4を開くことができる。

【0023】また、蛇を捕獲するときは、図4のようにロッド1後端側のループ8d内を蛇12の体が貫通する状態とした上、ロッド1先端側のループ8cを引っ張って図4の一点鎖線で示されるようにロッド1後端側のループ8dを小さくすれば、ロッド1後端側のループ8dで蛇12を締め付けて蛇12を捕獲することができる。なお、このようにしてロッド1後端側のループ8dで蛇12を締め付けた後、ワイヤストッパ9のスライド部材9bを図9のようにストッパ本体9a内により深く挿入される方向に移動すると、ワイヤ8がワイヤストッパ9の穴10の内周面とスライド部材9bとの間にきつく挟まれ、ワイヤ8がストッパ本体9aおよびスライド部材9bに対して固定される。したがって、その後ワイヤ8から手を離し、ワイヤ8がループ8dが広がる方向に引っ張られても、ワイヤストッパ9がネットリム3またはロッド1の先端に当接した時点でワイヤ8はそれ以上ロッド1に対して移動できなくなるので、ロッド1後端側のループ8dが開いてしまうことはない。

50 【0024】ロッド1後端側のループ8dで締め付けた

蛇12を解放したいときは、前記同様に図9のようにスライド部材9bをストッパ本体9aに対する挿入度合いが浅くなる方向に引っ張れば、ストッパ本体9aの穴10の内周面とスライド部材9bとの間の間隙が大きくなり、ストッパ本体9aおよびスライド部材9bに対してワイヤ8が自由に動けるようになるので、ロッド1後端側のループ8dを大きくして蛇12を解放することができる。

【0025】なお、ロッド1後端側のループ8dは、犬等の動物の首に引っかける等により、蛇以外の動物の捕獲にも使用することができる。

【0026】

【発明の効果】以上のように本発明は、(イ)一旦捕獲網内に動物を入れてしまえば、該捕獲網を閉じて該捕獲網の開口部から動物が逃げ出せないようにすることができます、(ロ)ロッドの後端側にもワイヤによりループが形成されるようにすれば、該ループにより蛇等も捕獲することができる、等の優れた効果を得られるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による動物捕獲具の一実施例を捕獲網を開いた状態で示す平面図である。

【図2】前記実施例を捕獲網を開いた状態で示す正面図である。

【図3】前記実施例のロッド先端部付近を示す拡大断面図である。

【図4】前記実施例のロッド後端部付近を示す拡大断面図である。

【図5】前記実施例のワイヤガイドを示す側面図である。

【図6】前記実施例のワイヤを示す平面図である。

【図7】前記実施例を捕獲網を閉めた状態で示す正面図である。

【図8】前記実施例におけるワイヤストッパを図3の断面とは垂直に断面して示す拡大断面図である。

【図9】前記実施例におけるワイヤストッパをワイヤを拘束した状態において示す拡大断面図である。

【符号の説明】

1 ロッド

1a アウターロッド

1b インナーロッド

3 ネットリム

4 捕獲網

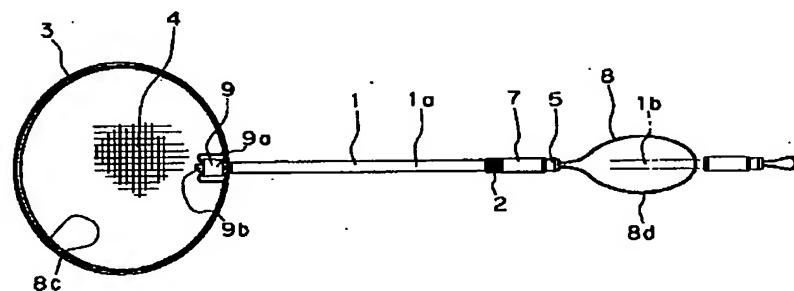
8 ワイヤ

8c ロッド先端側におけるループ

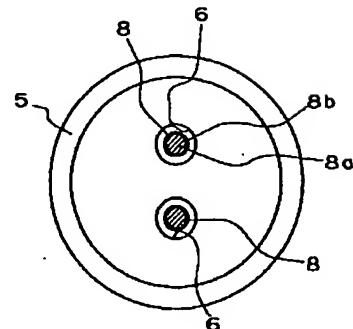
8d ロッド後端側におけるループ

9 ワイヤストッパ

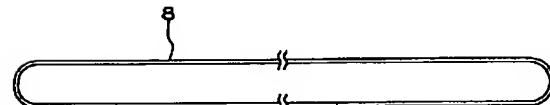
【図1】



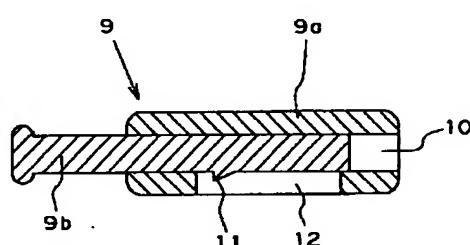
【図5】



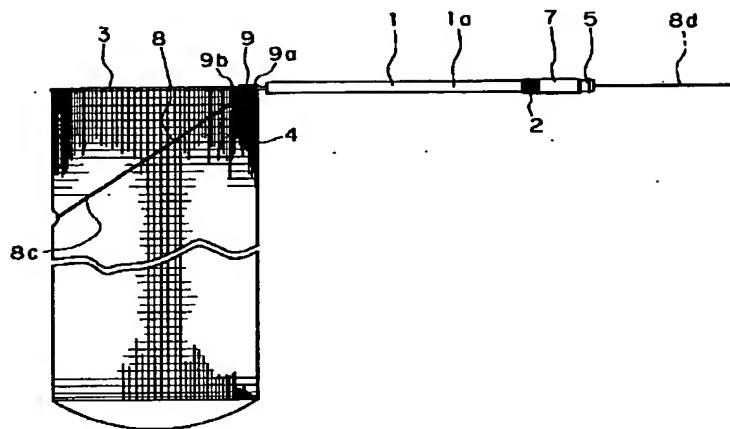
【図6】



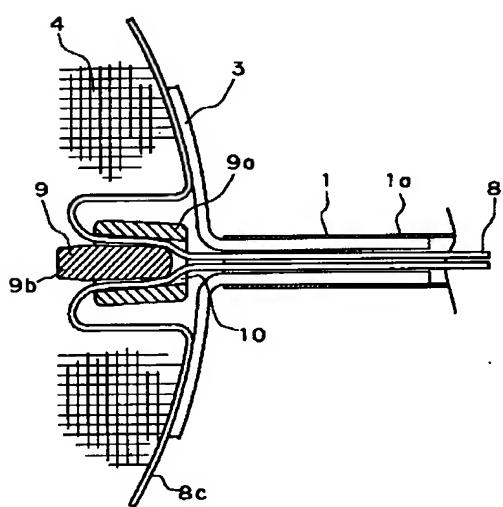
【図8】



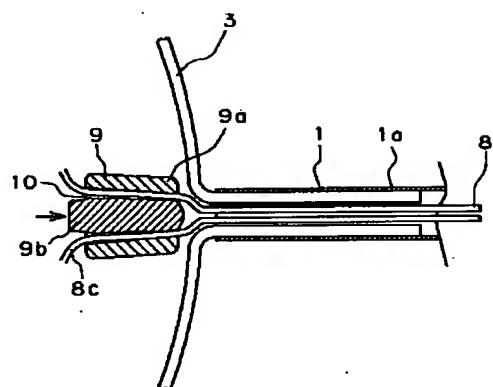
【図2】



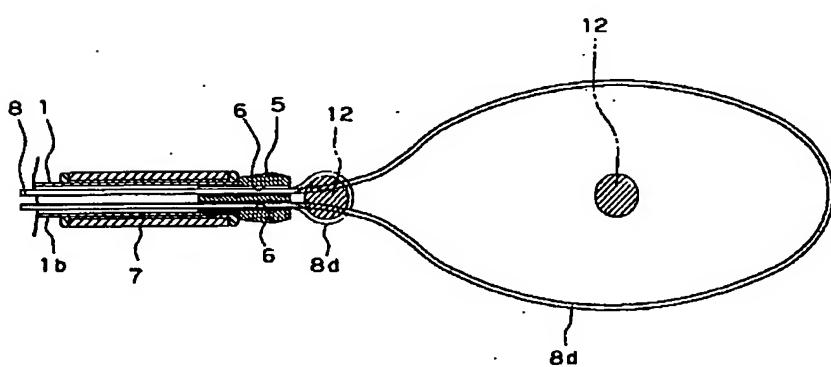
【図3】



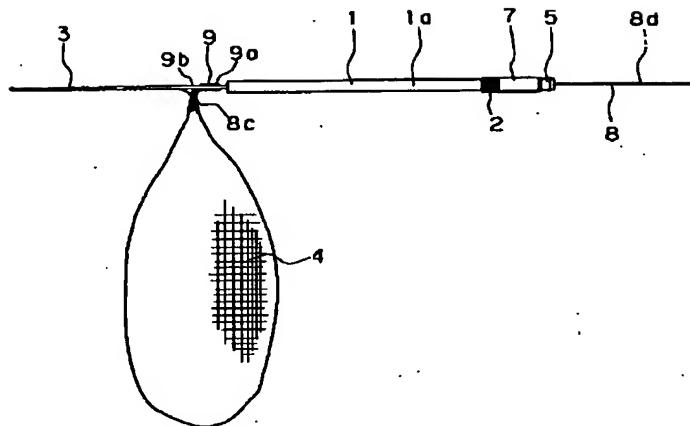
【図9】



【図4】



【図7】



PAT-NO: JP410234285A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10234285 A  
TITLE: ANIMAL CATCHING TOOL  
PUBN-DATE: September 8, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
KAWAI, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME KK S S C	COUNTRY N/A
------------------	----------------

APPL-NO: JP09061866  
APPL-DATE: February 27, 1997

INT-CL (IPC): A01M023/00, A01K077/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an animal catching tool than can make an animal not able to run away from the opening of catching net when the animal once moves into the catching net.

SOLUTION: A wire 8 is engaged with a catching net 4, which is attached through a net rim 3 to the top end of rod 1, so as to form a loop 8c along with this catching net 4 and when the wire is pulled so as to reduce the loop 8c, the catching net 4 is closed. Thus, when the animal moves into the catching net 4, the catching net 4 is closed by reducing the loop 8c by pulling the wire 8 so that the animal once entering the catching net 4 can

not run away from the  
opening of catching net 4.

COPYRIGHT: (C)1998, JPO